

末吉橋ニュース

第10号
令和7年10月



1基目の橋脚が完成しました！！！

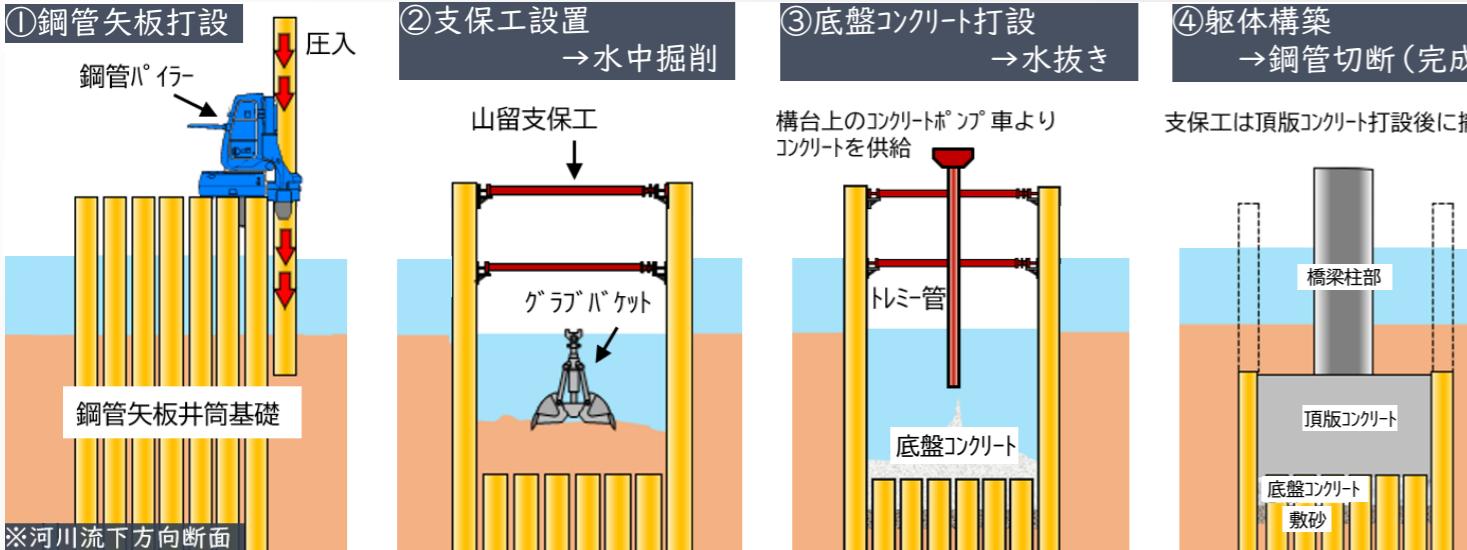
令和6年11月に着手した「橋脚工事」を順調に進め、令和7年5月に横浜方(写真下側)の橋脚が完成しました。

現在は、川崎方の橋脚工事を進めている状況です。

また、令和6年度に橋桁の製作及び架設工事の契約手続きが完了し、製作作業に着手しています。

着々と新たな橋が姿を現しています！

橋脚の施工手順



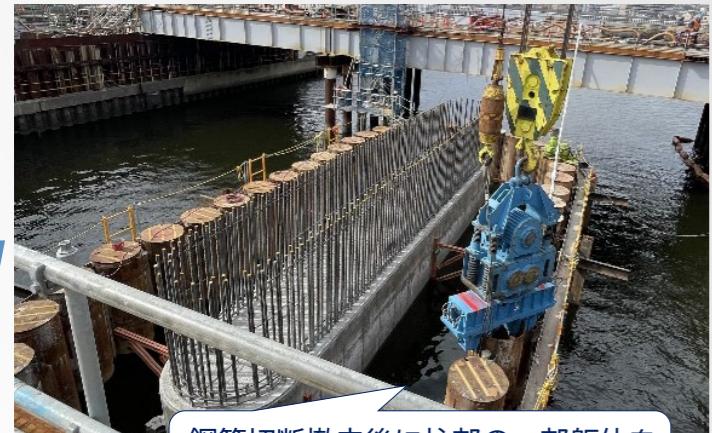
① 鋼管矢板打設



③ 底盤コンクリート打設



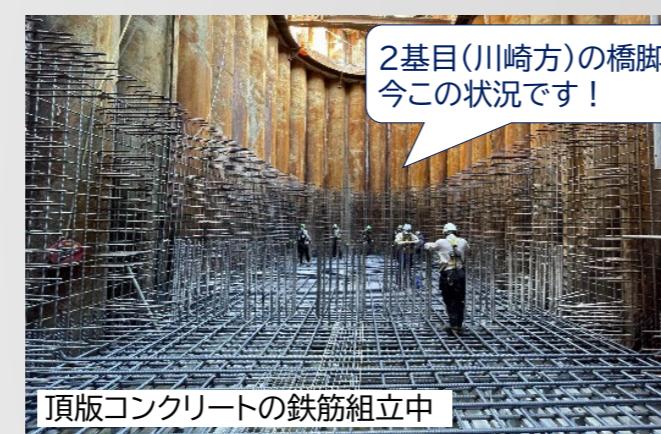
④-2 柱部構築



② 水中掘削



④-1 鉄筋組立(井筒内での作業)



橋脚完成



橋桁の紹介

末吉橋架替事業では、河川条件により桁下高の制約があることに加え、取付道路の高さの変化を極力小さくすることを目的とし、「プレビーム合成桁」という桁形式を採用しています。

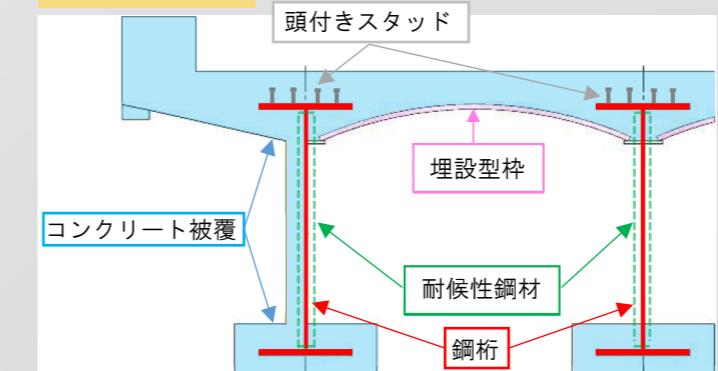
「プレビーム合成桁の特長」

・桁の剛性が高く、非常に低い桁高の実現が可能

・コンクリート桁に比べ軽量

・高い防錆機能を有し、ライフサイクルコストの低減が可能など

橋桁断面



完成イメージ



橋桁の製作状況

鋼板加工前



鋼板切斷



スタッド打設



鋼桁とコンクリートを一体化
させる際のずれ止めの役割と
して、「頭付きスタッド」を溶接
しています

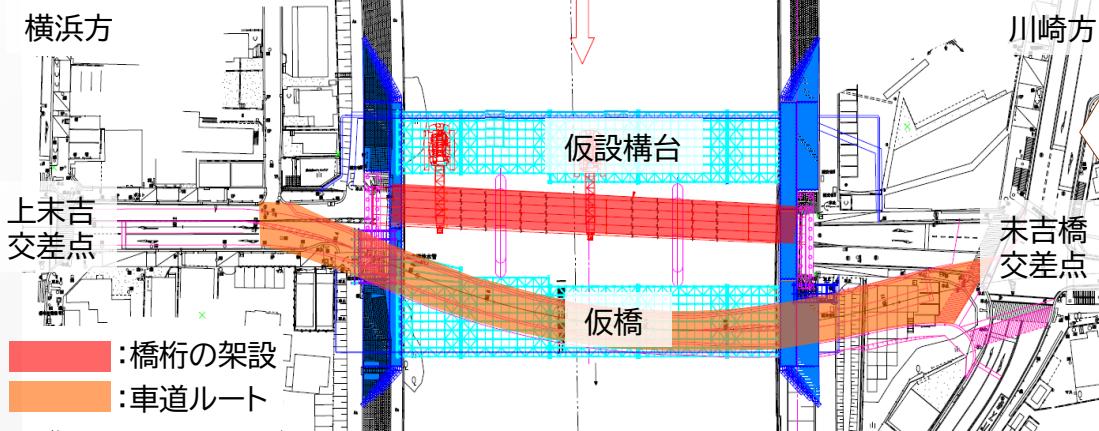
本溶接



今後も橋桁製作状況を
お知らせしていきます！

橋桁の架設ステップ

橋桁架設は上流側、下流側に分けて行います。

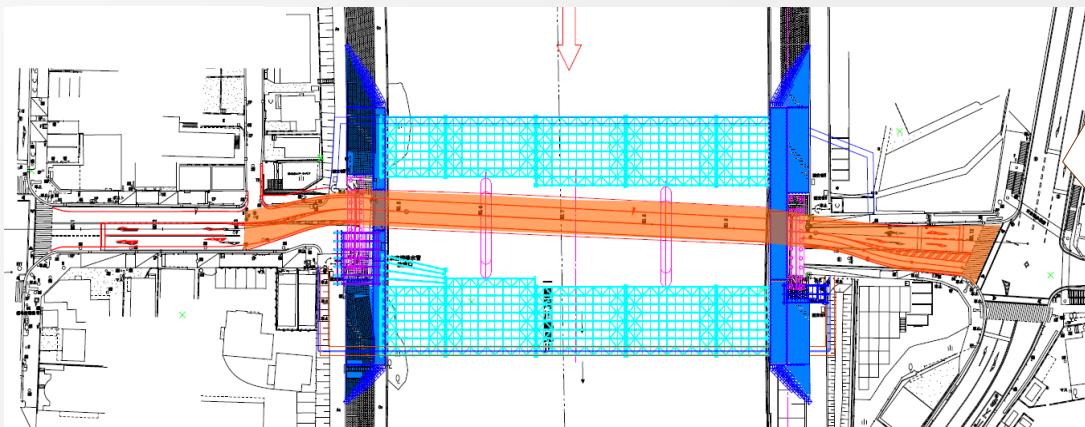


上流側の桁架設

現在の交通形態のまま、上流側に設置した仮設構台よりクレーンにて橋桁を架設します

橋桁架設後は、各桁の連結作業や橋面の仕上げを進めます

令和8年6月頃～(予定)

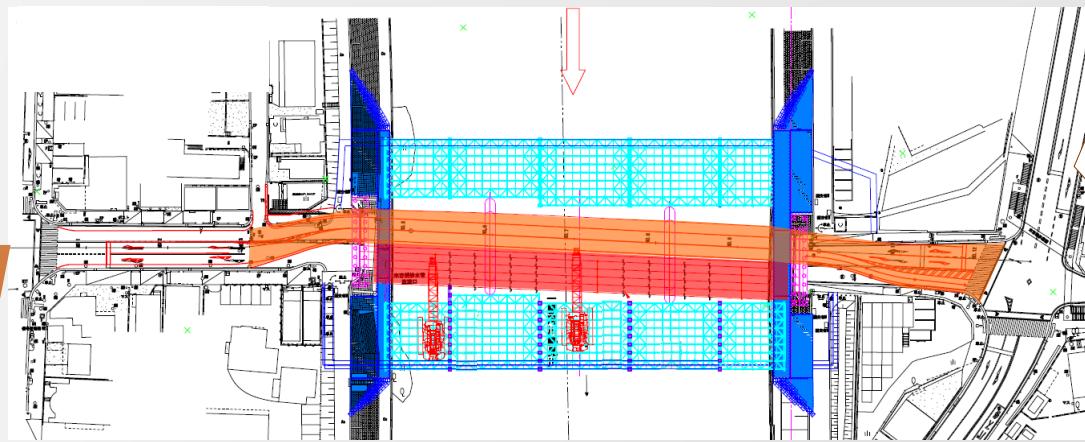


交通の切り替え

上流側に架設した新しい橋へ交通を切り替えます

併せて、下流側の仮橋を構台として使用する準備を進めます

令和9年春～(予定)



下流側の桁架設

上流側の架設同様に、クレーンにて橋桁の架設を行います

架設後は、最終の道路形態(右折レーンや歩道の設置等)とする作業を進めます

令和9年夏～(予定)

本工事は令和11年(2029年)の完了を目指し事業を進めています。周辺にお住いの方々、ご通行される方々にはご迷惑をおかけしますが、引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

～お問い合わせ～

横浜市道路局建設部橋梁課 TEL:045-671-2796 FAX:045-662-3945

未吉橋 架替

検索

事業に関する情報を横浜市道路局のホームページに掲載していますので、あわせてご確認ください。



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会
2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

©Expo 2027

